



# おしゃべりかわらばん



新屋の鹿嶋祭りに参加した、左から大島香さん、細矢由香さん、堀内友華子さん

## 鹿嶋祭はこどもの祭

鹿嶋祭は子どものまつりなので、町内の仲の良い友だちと一緒に、太鼓をたたいたり、行進することができて、とっても楽しい！ 毎年参加しているけど、来年からは中学生になるので、今年で終わりです。ちょっと残念...

## この木と一緒に大きくなあれ

これまで申し込んでも、大雨や子どもの入院で参加できず、今回、やっと参加できたんです。子どもが病気がちなので、健康を願って2人で植えました。家が近いので、ちょくちょく様子を見に来るつもりです。



誕生の森記念植樹に参加した大友美織さん、馨くん(浜田)



## 練習バッチリ、息ピッタリ

今年もヤートセに出場するため、毎日1時間の踊りの練習をしてきました。みんなで踊るのはもちろん楽しいけど、3、4年生に教えるのがもっと楽しかったです。息がピッタリの私たち、めずすは一番、大賞です！

ヤートセ秋田祭に参加する、チーム「明德KIDS」の佐良土結子さん(明德小6年)

## 男女共生をわかりやすく

以前から男女共生や編集に興味があり、委員に応募しました。行政の仕事に携わるのは初めてで、私自身も勉強になります。主婦の立場で、みんなにわかりやすく、そして広く使ってもらえるようなテキストを作りたいです。



男女共生啓発資料の編集委員になった佐々木真知子さん(八橋)



## 緑が戻ることを願って

全校生徒で植樹をしました。松くい虫の被害で、急に松が枯れてしまい残念でしたが、この植樹でまた緑が戻ればいいと思います。20年後、30年後に、植樹した場所がどのように変わっているのかを見るのが楽しみです。

松くい虫被害にあった校庭に、松の苗を植樹した嵯峨慶太郎さん(下浜中学校)



6月7日、新屋地区で行われた鹿嶋祭り。船は日吉神社でお払いを受け、町内をまわった後、子どもの厄を背負って川に流されました。

い級友はほかにもいたが、健康上の理由から望みかなわず、残念である。彼らの分まで頑張ってみようと思っている加藤忠直 68歳・仁井田) 今年度は班長の当番年でしたが、体調を崩し、とても班長の任に耐えられそうもなかったのですが、町内会のみなさんのあたたかのご理解をいただき、来年度当番予定のお隣さんから繰り上げて引き受けていただきました。大変感謝しております。あたたかのご好意におこたえできよう、体力の回復に努めています(渡辺義雄 79歳・広面)

## 係からひとこと

今回、地域の話題でご紹介した「響け歌声in飯島」の取材に出かけてきました。会場のコミセンの体育館をのぞいてみると、人、人、人...。歌や演奏が始まってからも、ぞくぞくと人がやってきて、「ここにこんなに人が入ったのは、おそらく初めて」とセンターの職員もびっくりでした。看板づくり、会場設営、生伴奏など、地域の財産を上手に活かして、喜ばれるイベントを作りあげたみなさんの努力に、感激しました。やっぱり地域の力って、すごい！ このコーナーでは、町内や地域でいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがあったら、ぜひ広報課にも教えてください(水澤)

## 広報クイズ



我が家の秋田路(中川アイさん・土崎)

## 5月23日号の当選者

前回のクイズの答えは、問1が「42」人、問2が「76」%でした。

全問正解154通(応募総数154通)の中から、青木修一さん(旭川南町)、板垣百合子さん(川元むつみ町)、工藤正子さん(飯島穀丁)、佐々木真津子さん(新屋豊町)、佐藤エミ子さん(桜一丁目)、鈴木明美さん(手形字扇田)、夏井洋さん(土崎港中央三丁目)、二宮昌子さん(保戸野原の町)、保坂孝紀さん(仁井田本町二丁目)、星利果さん(寺内字神屋敷)の10人のかたに図書券をお送りします。

6月の広報クイズは最終面です。よろしく!!

広報クイズの当選者は、毎回、市政記者室の記者のかたに厳正に抽選してもらっています(広報課)

# 井戸端 市民通信

月刊

読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしております。

## 読者の伝言板

敬称略

ただいま高齢者自立支援のお手伝いをさせていただいております。元気に良い年を重ねられているAさん、Bさんと「健康あきた市21スタート」の記事を見てたら、「いい世の中ね」とAさん。Bさんは「では百歳まで頑張らねば」。二人の言葉にわたしが元気をいただき、感謝の毎日です(渡部栄子 61歳・土崎)

あきたノスタルジィの動物園の写真を見た瞬間、両親や小さかった頃のわたしがよみがえってきました。動物園に行けるワクワクした気持ちや、母や自分の着ていた服や靴まで思い出しました。懐かしかったです。おさるの電車も乗ったワ(小野崎忍 41歳・土崎)

千秋公園にあった動物園の写真を懐かしく拝見しました。当時の若い女性の髪型も短く、時代の流れを感じさせてくれます(伊藤眸 67歳・八橋)

裏表紙の昭和四十三年時の動物園の写真見ました。いい

ですね。わたしも子どもたちが喜ぶので動物園によく行くのですが「おさるの電車が復活したら」なんて思いました。機関車が好きな子どもたちは、おさるさんが運転していたら大興奮間違いなし！なんだか考えるだけでもウキウキしてきます(ペンネーム・ウツキ 32歳・広面)

だんだん矢留のマーク入りの市営バスが街から消えつつありますね。でも仕方がないことですね。息子が子どもの頃、描いていた車の絵には、バスはもちろんタクシーにも矢留のマークがありました。そんなわたしの話を息子は照れ笑いをして聞いていました(鈴木俱子 62歳・川尻)

四月に二人目の孫、八月に三人目の孫が誕生します。もうかわいくてかわいくて！「ブチュッ」の連続です(小島和博 55歳・太平)

中学校同級の仲間三人と本年度の高齢者大学に入学した。同じ場所で学ぶのは五十二年ぶりであるうか。学びた

## 地域の話 おしえて!!

### 思い出の曲を歌おう “響け歌声 in 飯島” 歌がつなげる 地域の人々の輪

飯島地区で活動する合唱サークル「ほほえみコーラス」が、創立5周年を記念して、地域の人たちと歌を楽しむ集いを企画しました。

飯島小学校の合唱クラブや飯島中学校の吹奏楽部を迎え、参加者は400人近く。ちょっと懐かしい選曲と楽しい演出に会場は大盛り上がり！観客も音楽に合わせて体を揺らしたり、手拍子をしたり、歌ったり、いつの間にか会場は一

体感に包まれていました。

ほほえみコーラス会長の野中歌子さんは「参加者から『またやって！』という声もたくさんいただきました。世代を越え、たくさんの方が楽しんでくれて、わたしたちも興奮しています。地域の人たちも、こういう場を待っていたんですね」と話してくれました。

「みんなで歌おう！」の呼びかけで、地域の中に新しいつながりが



生まれた素敵な集いでした。



大勢で歌うって、気持ちいいですね